

1 出題の基本方針

- (1) 小学校で学習した内容を基にして、思考・判断・表現する力をみる。
- (2) 与えられた課題の条件を整理し、論理的に筋道を立てて考える力をみる。
- (3) 身近な生活を題材としてその中にある課題を自分の経験や知識で分析し、考えや意見を的確に表現する力をみる。
- (4) 適性検査Ⅰについては、(1)、(2)、(3)に加え、意欲的な態度をみる。

2 適性検査問題の出題の方針、問題の構成及び主なねらい

出題の基本方針を踏まえ、以下のとおり適性検査Ⅰ及び適性検査Ⅱを実施する。

適性検査Ⅰ（45分）

- (1) 出題の方針
身近な題材の中から課題を見付け、情報を整理し、自分の考えや意見を正しく表現し、的確に文章にまとめる力をみるとともに、意欲的な態度をみる。
- (2) 問題の構成及び主なねらい
 - ・ 日本の古典作品の一節を自分の経験などに重ね合わせながら読み、著者の言いたかったことや自分の考えたことを600字以内で文章にまとめ、論理的に表現する力をみる。

適性検査Ⅱ（45分）

- (1) 出題の方針
資料から情報を読み取り、課題に対して思考・判断する力、論理的に考察・処理する力、的確に表現する力などをみる。
- (2) 問題の構成及び主なねらい
 - ・ 大問を3問とし、小問9問で構成する。
 - ・ けん玉大会を題材とし、けん玉大会の会場のかざりの面積を正確に計算する力、与えられた方法を使って皿の深さなどを導き出す力、連続技の構成から競技の得点を論理的に導き出す力などをみる。
 - ・ 野菜の生産を題材とし、複数の資料から読み取った情報を関連付け、それを活用し、考察する力をみる。
 - ・ 時間の計り方や、容器から落ちるプラスチック球の事象を題材とし、自然現象の規則性を見出し日常の現象と関連付ける力、実験結果を分析し考察する力をみる。